

留学生と学ぶ世界のいろんな 当たり前とカルチャーショック体験

Tanoshii
Workshop



主な対象 小学校高学年から



所要時間 60分～

このワークショップでは、留学生が故郷の家庭や学校の日常生活における習慣を日本と比較したり、来日後の生活におけるカルチャーショック等を参加型の活動を通して紹介します。単に知識を得るだけでなくその場にいる全員（留学生と学習者、教職員の方）が参画し「聴く」と「協働」を実践することで学びを得ることを目標とします。

① イントロダクション

Tanoshii
Workshop

エドゥケーターが小さな学習者にも分かりやすく多様な世界の姿と、背景が異なる人と共に生きる力として必要な「聴くこと」「協働」することの大切さを紹介します。そしてこのワークショップの中で実践しよう、とモチベーションを高めます。

② 留学生の自己紹介

Tanoshii
Workshop



留学生は、はじめに母語と日本語で名前や出身、好きな日本文化等について自己紹介します。外国語を聴いた学習者は、一瞬きょとんとします。しかし、日本語を聞くと自分も聞き取れていたことが分かります。これはまさに「聴く」の実践で、親近感と興味関心を高めます。

③ 学校文化比較 & カルチャーショッククイズ

Tanoshii
Workshop



日本の学校における文化を留学生の母国とクイズを通して比較します。また、留学生が来日して経験したカルチャーショックをクイズによって伝えることで、文化の多様なあり方・見方を紹介します。

わたしたちの学校と比べてみると同じこと、違うこと両方あるんだね！



留学生のみんなも僕らが好きなものを好きなんだね！

④ 全員で チャレンジしてみよう！

Tanoshii
Workshop



実際に身体を動かして全員が参加するアクティビティにチャレンジします。内容は留学生の母語によるじゃんけんのゲームや、一人ひとりの参加が必須の「協働」するアクティビティです。

⑤ 振り返り

Tanoshii
Workshop

ワークショップ全体を振り返ります。アクティビティにおける学習者の活動の様子をエドゥケーターや留学生からフィードバックし、異文化コミュニケーションにおける「聴く」と「協働」の大切さを確認します。